



セミが、なっています。  
どっちでしょう？

①オス

②メス

こた  
めん  
答えはうら面で！



こたえ  
答：①オスです。メスは、<sup>な</sup>鳴き声<sup>を</sup>頼りに、オスのところ  
にあつ  
に集まるそうです。

## しら 調べてみよう！

『うまれたよ!セミ (よみきかせいきものしゃしんえほん 15)』

(<sup>しんかいたかし</sup>新開<sup>しゃしん</sup>孝/写真<sup>こすぎ</sup>小杉<sup>のり</sup>みのり/構成・文<sup>こうせい</sup>岩崎<sup>ぶん</sup>書店 2013.12

E3/3376N/シ)

<sup>き</sup>木に産み付けられた<sup>たまご</sup>卵<sup>ねんかん</sup>が<sup>じゅん</sup>かえり、<sup>なか</sup>7年間、<sup>ようちゅう</sup>地面の中ですごした<sup>ようちゅう</sup>幼虫  
が<sup>ちじょう</sup>地上に出てくるまでの<sup>ようす</sup>様子が、<sup>おお</sup>大きな<sup>しゃしん</sup>写真で<sup>み</sup>見られます。(低学年～)

『はじめて見たよ!セミのなぞ』(<sup>しんかいたかし</sup>新開<sup>しゃしん</sup>孝/写真・文<sup>ぶん</sup>少年写真新聞社  
2017.6 J486/633N)

<sup>こんちゅうしゃしんか</sup>昆虫写真家が<sup>にほんかくち</sup>日本各地の<sup>かんさつ</sup>セミを<sup>はっけん</sup>観察して<sup>つた</sup>発見したことを伝えてくれ  
ます。<sup>みかえ</sup>見返しに「セミ探訪マップ」、<sup>たんぼう</sup>巻末に「セミのぬけがら凶鑑」な  
どがあります。(<sup>ちゅうがくねん</sup>中学年～)

『<sup>にわ</sup>ぼくの庭にきた<sup>むし</sup>虫たち 3 <sup>かんさつき</sup>セミ観察記』(<sup>さとうのぶはる</sup>佐藤信治/著<sup>ちよ</sup>農山<sup>のうざん</sup>  
<sup>ぎょそんぶんかきょうかい</sup>漁村文化協会 2009.2 J486/494N/3)

「セミの<sup>ようちゅう</sup>幼虫の<sup>すあな</sup>巣穴は?」「どれくらいの<sup>たか</sup>高さで<sup>う</sup>羽化するの?」「ど  
うやって<sup>たまご</sup>卵を<sup>う</sup>産むの?」など、こどもたちの「なぜ?」に<sup>こた</sup>答える<sup>かんさつ</sup>観察  
<sup>きろく</sup>記録です。<sup>かんさつかてい</sup>観察過程や<sup>けっか</sup>結果が、<sup>しゃしん</sup>写真や<sup>ひょう</sup>表で<sup>しょうかい</sup>紹介されているので、<sup>じぶん</sup>自分  
で<sup>ため</sup>試して<sup>ひかく</sup>比較することできます。(高学年～)

## み 見てみよう！

<sup>おおさかしりつしぜんしはくぶつかん</sup>「大阪市立自然史博物館 キッズページ」

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

<sup>おおさか</sup>大阪の<sup>み</sup>セミの<sup>かた</sup>見分け方が<sup>しょうかい</sup>紹介されています。また、<sup>けんきゅうしつ</sup>研究室のペ  
ージ(<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/shiyake/semi.html>)  
には、<sup>しら</sup>セミの<sup>かた</sup>調べ方が<sup>じっさい</sup>実際の<sup>きろく</sup>記録とともに<sup>しょうかい</sup>紹介されています。